

所属・職・氏名	岩手大学農学部 農林環境科学科 森林科学 助教授・関野 登
シーズ名	建築用木質断熱材
シーズの概要	環境問題に対する関心の高まりや産業廃棄物の法規制強化により、木材産業における残廃材の再資源化技術は一段と重要性を増した。本研究では、木材加工工場の残廃材再資源化技術として、木材小片を原料とする建築用断熱パネルの開発に着手した。考案した断熱パネルの外観を写真に示すが、主な特徴は、①バインダレス成形、②施工の簡略化、③解体および再資源化の容易性である。現在、断熱性に関する基礎研究が終了し、実大試作品をモデルハウスに設置して、施工性および断熱性を検証する段階となっている。 
その他参考資料	研究成果の詳細は以下の報告に纏められている。 関野 登、河村義大：残廃材を原料とした建築用バインダレス小片断熱パネル 木材工業 58 (8), 364-369(2003) 関野 登：木質小片断熱材の開発、財団法人さんりく基金平成 14 年度研究報告（概要）、三陸総合研究、第 23 号：4-7. (2003.10) 河村義大、関野 登、山内英彦：残廃材を原料とした建築用バインダレス小片断熱パネル（第 2 報）熱伝導率と耐落下衝撃性に及ぼす小片厚さとパネル密度の影響、木材学会誌、50(4), 228-235 (2004)
共同研究機関・企業	株式会社ヤマウチ、（財）さんりく基金
特許(出願)番号	特開 2003-266411